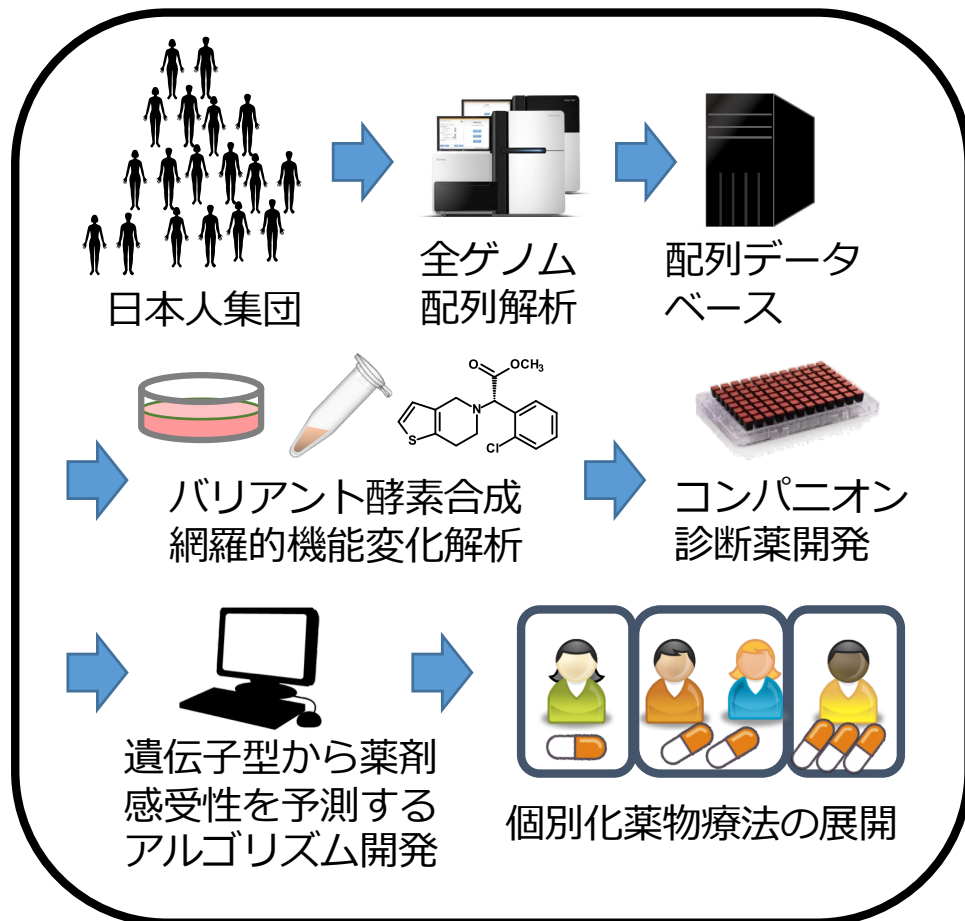


# 個別化薬物療法を目指した薬物代謝酵素の網羅的ゲノム・バリエント酵素機能変化解析



- 薬物代謝酵素の遺伝子多型により薬効や副作用の個人差が生じる
- 日本人集団の全ゲノム配列データベースを利用してバリエント酵素500種の機能変化を網羅的に明らかにする
- コンパニオン診断薬・薬剤感受性予測アルゴリズム開発により患者個々に最適な薬物選択や投与量調節が可能になる

開発・推進

東北大学薬学研究科 生活習慣病治療薬学分野

参考資料等

Hiratsuka M. *In vitro* assessment of the allelic variants of cytochrome P450. *Drug Metab. Pharmacokinet.*, 27:68-84 (2012)